

# 豊庄だより



第 694 号 2022 年 1 月 11 日

年末年始の休みが終わり、1 週間が経ちました。保育園に子どもたちの元気な声が帰ってきました。今年の年末年始はコロナ禍のため、どこにも行かず自宅でゆっくりと過ごしていたためか、子どもたちの一時も休むことなく園庭を駆け回る姿に、ついていくことができていません。これじゃ失格ですね。少しずつリハビリをしていくつもりです。

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



1 月 5 日

例年であれば、12月29日の閉園後も滞っている残務整理のため保育園の事務室で2~3日ほど仕事をし、それ以外の日も忘年会・新年会などで出かけることが多かったのですが、コロナ禍の「おかげ」といっては不謹慎かもしれませんが、ほとんど自宅で過ごしました。そのため、テレビの前にいることが多くなりました。スポーツ、ドラマ、年末年始の特番などをよく見ました。今号はそのことを書きます。

スポーツは高校生のサッカーや駅伝、大学生や社会人の駅伝。実況中継のアナウンサーは、ラジオ中継でもしているかのようによくしゃべり、テレビで映像を流しているのを見ればわかるようなことまで大きな声を出していました。また、(すべてのテレビ局ではないのですが)実況の中で選手の家族を紹介すること

が多く、こんなことまで伝える必要があるのだろうかと思ってしまいました。中継を見ていて気になったことでも一つ。選手のユニフォームに企業名が書かれていることです。特に駅伝では、ずっとそれを中継で見せつけられるのは、企業にとっては宣伝効果があるのかもしれませんが、もう少し控えられないかと思いました。社会人の試合ならまだしも大学の試合でも多く見られ、企業の援助なしには活動が運営できないという現実がありそうです。後日、新聞でユニフォームの企業のロゴマークに億単位のお金が提供されていることを読み、驚きました。こうなるともうアマチュアではありません。そもそも現在のスポーツでは、競技活動の資金捻出のためにはこうしたスポンサーの獲得をしなければならぬのかもしれませんが、「走る広告塔」みたいでした。

次はドラマ。これまで放送していたドラマをすべて見せませうという放送がかなりありました。そうした中の一つに、「ドラゴン桜」という番組を観ました。新聞の番組表を見て驚きました。朝の7時開始で、午後まで放送することが分かりました。他にたいした番組がなくて、なんとなくチャンネルを合わせました。予備知識が全くなくて見たのですが、これが面白い！1部、2部、3部に分けて放送されたのですが、見始めたのが1部の終わりくらいのところだったので、話の筋が分からないところがありましたが、それでも見入ってしまいました。「東大に5人入学させる」という話です。東大に合格させるために設けた「東大専科」というクラスに、メンバーが少しずつ集まってきて、それを実現させるという話です。到底合格できそうにないメンバーが、チームワークで実力をつけていく姿に感心しました。

最後は、幕末・維新から戦後を生き抜いた渋沢栄一の話です。渋沢に興味はそれほど持っていなかったのですが、幕末・維新の歴史を学ぶのにはちょうどよい番組でした。本を読むより楽しんで学ぶことができました。



1 月 6 日